

大宮

omiyaya
 大阪市旭区大宮
 1丁目～5丁目

大宮班のテーマ



町名の由来

町名は、南島・森小路・今市・千林・貝脇・江野・中宮・生江・友渕・内代の各町を氏地とした大宮八幡宮の社名に由来する。

大宮班のテーマ設定

大宮班のテーマは、第2回ワークショップで善立寺の前ご住職のところでお聞きした、近世から近代までの大宮に関するお話をもとに設定をしました。その道すがら、ふと参加者が見つけた電柱のプレートに書かれた「ミナミジマ」という文字。ご住職のお話でもお聞きしましたが、この「ミナミジマ」を昔の大宮を象徴するキーワードとして位置づけ、作業を進めました。

平成18年度地域史づくりワークショップメンバー【大宮班】敬称略・50音順

奥本 ■ 鎌田 ■ 鎌田 ■ 河本 ■ 柴田 ■ 中村 ■ 日高 ■ 古川 ■ 森 ■

◆◆◆ 大宮班の活動記録 ◆◆◆

ワークショップ開催日 議論のポイント

第1回 平成18年9月28日	テーマ設定をどうすべきか
第2回 平成18年10月19日	善立寺ヒアリング
第3回 平成18年11月20日	地形の移り変わり
第4回 平成19年1月15日	見て分かる地域史づくり
第5回 平成19年2月5日	キーワードの再検討
第6回 平成19年2月27日	地域史の最終構成
第7回 平成19年3月26日	掲載ボリュームの設定



■ まち歩きの様子(第4回)



■ 善立寺ヒアリングの様子(第2回)



■ ワークショップ初日

「参加者の声」

■ 旭図書館の資料や旭区史等を参考にしながら、南島地区(現 大宮町)の江戸、明治期のレポートを作成しました。その結果、当地は江戸、明治期に淀川の恵みを受け、四方八方に通じた水路が形成されるとともに、肥沃な土地であったことから、恵まれた農地地方であったことが分かりました。調べた内容と史実が一致しているかについては、未確認の部分もありますが、この地域史を見て旭区の歴史に興味を持っていただければ幸いです。

■ 地域史づくりの活動とだぶらせながら、仲間や家族と自分の住んでいる所の昔をハイキングのようにたどっていくことは、健康に良く、楽しいひと時です。こうした活動を通じて、地域の人たちとコミュニケーションを深めていきたいものです。今回のワークショップでは、身近なところを歩いて、とても有意義でした。

■ 大宮地区の歴史、水路を勉強するにつれて、昔から疑問に思っていた「八百八橋というけれど、川も橋もそんなにあるのか？」という謎が解けました。我が家の横に川が流れていた！細い道も川だった！「大阪人」という本の中では「淀川は豊かな恩恵と、ときに厳しい試練を与えてきた」と語られており、多くの水路によって農業も発達し、商業も栄えました。又、洪水によって人々は苦しめられたのでしょう。毎日生活していく中で、少し目を向けるだけで、多くのことが判ってくるのですね。近い将来、皆さんが調べられた事を映像として作られたら、大変面白く、わかりやすく、興味を持っていただければと思います。私は、100年後に今を含めた水路がどのようになっているか知りたいと思います。

■ この地域史づくり・ワークショップに参加するまでは、旭区という名が「日の出る東部」という意味があると、三十年余り暮らして知りませんでした。そして、大宮の辺りが「南島村」と呼ばれ、水路(井路)も発達していて、美しい田園風景を見に来る人もあったとか、こんなワンシーンを想像するだけでも楽しくなります。ご近所づきあいも少なくなりつつある昨今、この様な催しがあることをPRして、人の輪が広がれば良いと思います。